

# 有機農業技術のつぼ

【NO. 6】

作物名	たまねぎ
対応技術の項目	除草技術
	物理的防除法
	機械除草

## 《情報収集先の経営概要等》

伊達市 矢野 勇治 経験年数30年（うち有機年数15年）  
 経営耕地面積 31.60ha（うち有機面積10.9ha）  
 ばれいしょ 8.00ha（うち有機面積 4.30ha） スイートコーン 0.40ha  
 たまねぎ 8.50ha（うち有機面積 4.10ha） ブロッコリー 1.20ha  
 かぼちゃ 2.50ha（うち有機面積 2.50ha） てんさい 11.00ha  
 労働力 家族4人 雇用1～4人  
 有機JAS認定の取得状況（H15年取得）

### 問題点

除草作業に多くの労働力を費やすため、規模拡大が困難であった

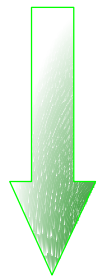


- 労働力の制約上、作付面積の拡大が困難

### 対応

除草機を導入

つぼ



- 除草機「キュウホー（たまねぎ用カルチ）」を導入して除草を省力化

#### ※ 対応技術活用上の注意点

- ・ 活着後に中耕作業を1回実施し、その後、雑草の発生状況に応じて「たまねぎ用カルチ」による除草作業を2回程度実施。以降、適宜、手取り除草を行う。

### 成果

除草の省力化・効率化により作付面積が増加した

- 導入前 作付面積 0.3ha → 導入後 4.0ha

【参考】

○たまねぎの除草技術



「キュウホー（たまねぎ用カルチ）」



たまねぎ用カルチと手取り除草で管理されたほ場